

## 広報委員会 行政視察報告

- 期 日 平成27年6月29日～30日
- 研修内容
- ・ 議会報編集委員の構成について
  - ・ 議会報編集の基本方針について
  - ・ 議会報完成までのスケジュールについて
  - ・ 一般質問、代表質問について
  - ・ 議会報紙面づくりで、工夫されている点について
  - ・ 議会報の広報について



広報委員会において、6月29日から30日にかけて、富山県黒部市議会を視察研修してまいりました。

黒部市の議会報編集委員会の構成は、正副議長、常任委員会各委員長3名および特別委員会委員長の6名の構成員でありました。

「議会だより」は、笠間市と同様に年4回の発行で、5月・8月・11月・2月のそれぞれ1日に発行、文字数は一般質問で500字、代表質問で1000字以内とし、議員の意図を汲み取るため、議員本人が作成することとしていました。

専門用語が頻発する場合には、用語解説を掲載する等、紙面づくりに工夫をされていました。配布については、「広報くろべ」への折り込みにより全戸配布しています。また、市ホームページにPDFデータを掲載し、市民周知に努めているとのことでした。

現在、笠間市議会では、本会議のライブ中継を実施しておりますが、黒部市議会でも、インターネット中継とケーブルTVにてライブ中継を実施されております。しかし、録画中継は実施されていないとのことでした。

広報委員会では、今回の黒部市議会の広報を参考にしながら、これからも見やすい「議会だより」の紙面づくりと、さらに皆様に開かれた議会・親しまれる議会広報を目指して活動してまいります。

研修議員 委員長：大関 久義 副委員長：村上 寿之 委員：畑岡 洋二  
委員：橋本 良一 委員：石田 安夫 委員：西山 猛

## 総務産業委員会 行政視察報告

- 期 日 平成27年7月6日～8日
- 研修内容
- ・ ICT活用について(長野県塩尻市)
  - ・ 道の駅「あおき」について(長野県青木村)
  - ・ 6次産業について(長野県小布施町)



総務産業委員会において、7月6日から8日の3日間、長野県塩尻市、青木村、小布施町の3ヶ所を視察研修してまいりました。

塩尻市は、インターネットに代表されるICT（情報通信技術）を活用した街づくりが進んでいる。人口減少や高齢化に直面する自治体で、ICTを使った地域活性化をどう進めればいいのか。現状や課題などの意見交換をしました。

青木村では、平成25年度実績で受入人員が平成23年度から7倍。外国人受入も本格化。道の駅を拠点として体験交流窓口を設置し情報発信を強化するとともに、地方創生拠点として農産物直売所以外の機能も持たせるなど特色ある道の駅の研修をすることができました。

小布施町では、農業が食料品の原料のみを提供する1次産業にとどまることなく、農産物加工（2次産業）及び販売、情報、観光（3次産業）に積極的に乗り出し、付加価値と雇用の場を創出する総合産業を目指して、住民と行政が一体となり街づくりを進めているという素晴らしい6次産業のあり方でした。

総務産業経済委員会では、この研修の成果を今後の議会活動に活かしてまいります。

研修議員 委員長：飯田 正憲 副委員長：小松崎 均 委員：蛭澤 幸一  
委員：野口 圓 委員：萩原 瑞子 委員：横倉 きん